

オフィスの真ん中にあるパントリーの自販機は無料。出来上がりを待つ間に会話が生まれる



フロア中央に位置するカフェスペース。フリーアドレス席は縦長のデスクや丸テーブルなども配備され、気分や用途に合わせて選ぶことができる

フリーアドレスで、中央にはカフェスペースを設置 人の交流が増え、部門を超えたビジネスが活性化した

株式会社フotron

■会社概要

創業	1968 (昭和43) 年
代表者	布施信夫
所在地	東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング21階
資本金	1億円
売上高	120億6,600万円 (16年3月期、連結)
従業員数	263人
事業内容	高速度ビデオカメラ、画像処理システム、 放送用映像機器、CAD関連ソフトウェア などの開発・製造・販売・輸出入

さまざまなタイプの席が 1日中自由に使える

(株)フotronの東京本社には、約220人の社員が勤務しているが、それだけの人数がいるようにも見えるが、それだけの人数がいないようにも見える。面積自体が広いこともあるが、長方形のオフィスの中央部分に設けられたカフェスペース

ストフリーアドレスが開放感を生み出している。

2015 (平成27) 年5月に現在地に移転する前は、九段下と永田町に本社オフィスが分散していた。「ビルが違うだけでなく、同じビル内でも別の階に行くことが少なく、隣の部門の人との接点がほとんどありませんでした。同じ会社なのに違う会社のように気になっていました」と布施信夫社長は振り返る。

フotronはプロ用放送映像機器、研究開発用の高速度ビデオカメラ、医用画像システム、CAD関連ソフトなどの事業部門を持つ映像・画像関連の専門会社だ。基本的な技術は共通する部分が多いが、縦割りの弊害が出ていた。「せっかく良い技術を持っているのに、もっと活用しないとダメだ。本社の移転を機に、部門を超えていつでも話し合いができる場を作り、生産性と創造性を



布施信夫代表取締役社長。フリーアドレスは社員からも提案があったという。「ただ、外回りの営業担当はオフィスにいないから机を減らすという発想だとモチベーションが下がるといって採用できなかったけれどもおもしろい提案がたくさんありました」

向上させようと考えました」

このような社長のコンセプトを受けて、各部門から参加したメンバーによるプロジェクトチームが半年間検討し、社員アンケートも実施した。その答えがフリーアドレスとカフェスペースだった。

フリーアドレスは約100席で、外に出る機会が多い営業担当者やフィールドサービス担当の技術職は自分の席を持たない。それ以外の技術職と開発担当者は固定席もあるが、フリーアドレスは全員が自由に使える。テーブル席、ファミレス席、集中して仕事ができる遮音エリア

21階から都心の景観を眺めることのできる窓際のカウンター席



固定デスクを持たない社員用のロッカー。パソコンなどを始め必要なものはほぼ収まるという



を知らないものです。社内情報のデータベースも作っていますが、直接会うほうが早いし、顔を見て話をする相手の表情も分かって、話題が広がります。部門間のコミュニケーションが活発になると、創造性が湧いてひらめくものがあり、新しいアイデアにつながります」

その甲斐があって、特許出願件数は移転前の10倍以上になった。同じ得意先に通っているのを初めて知ったということも珍しくなく、ジョイントセミナーや社内セミナーを開催する機会も目に見えて増えたという。

フリーアドレスにはもう一つ効用がある。無駄な資料や荷物が一掃できたことだ。以前はデスクの足元にまでカタログや書類を積み上げた営業の社員も多かったが、引越す際にいっせいに整理した。

「以前のようにデスクにものを置いたままにできなくなりましたが、全然困っていません。もともといらなかったのです(笑)。荷物の山に埋もれて仕事をする必要はありません。環境が良くなると気分も良くなり、間違いなくモチベーションが上がります」

固定のデスクがなくても仕事ができることが分かったので、フリーアドレス席を増やす予定だと布施社長は語る。今後社員の「出会い」の場がさらに増えて、新しいビジネスへのひらめきが生まれる機会もより多くなるに違いない。

不要な資料や書類もなくなり、 ペーパーレス化につながる

カフェスペースではコピー機が無料で飲めるので、オフィスの両端に近い固定

など、さまざまなスタイルが用意されている。遮音エリアは、アンケートで希望があったのを受けて採り入れた。ファミレス席は打ち合わせスペースがもつと欲しいという要望に対応したものだ。

これまで席が足りなくなったことはなく、居場所がないという声も聞かれない。毎年行う社内アンケート調査でも、社員満足度は移転前の64%から移転後は82%に大きく向上した。

「人と人の接点を増やし、コミュニケーションが生まれるような動線を作ることが、オフィスを活性化するポイントです。当社では顔を合わせれば社員同士が必ず簡単なあいさつをする習慣があります。自販機でコーヒーが1杯できるまで30秒かかり、その待ち時間に自然と話が始まります」



「まちづくり発達史」空き公共施設の利活用



「チャレンジャー」
藤巻 優



「千葉・武蔵野アライアンス シンポジウム」
圏央道が繋ぐ千葉・埼玉の未来を考える

まちづくり発達史

市町村と企業のマッチングをサポートする県の新事業
空き公共施設の利活用…………… 4

《事例紹介》生明弘好 [株式会社良品計画 事業開発担当部長]
寺川広貴 [株式会社 DIGLEE 代表取締役]
鈴木雅之 [千葉大学国際教養学部国際教養学科 准教授]

企業最前線

コインランドリーに新しい風。フランチャイズ展開で急成長…………… 12
株式会社mammacio (マンマチャオ)
全国1400カ所の大規模電気設備を守る電気のプロ集団…………… 14
株式会社稲葉電機

会社を強くする！ 実践経営塾

社員の創造性を引き出すオフィスづくり…………… 18
● HILLTOP株式会社…………… 18
● 株式会社フォトロン…………… 20

房総の名城ものがたり

戦国時代に光彩を放った酒井氏の居城—土気城…………… 24
大森章夫 [フリーライター]

チャレンジャー

格闘技はひとりで闘う競技ではない。そう気づいてから、強くなりました…………… 28
藤巻 優 [格闘家]

千葉・武蔵野アライアンス シンポジウム

圏央道が繋ぐ千葉・埼玉の未来を考える…………… 30
《パネリスト》石田東生 [筑波大学社会工学科 教授] / 松永哲也 [(株)ちばぎん総合研究所 専務取締役] /
土田 浩 [(株)ぶぎん地域経済研究所 専務取締役]
《コーディネーター》水野 創 [(株)ちばぎん総合研究所 取締役社長]

◆房総に“美”あり…………… 2
浜口陽三「西瓜」
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション)

◆旅の達人が見た、世界観光事情…………… 16
アルハンブラ宮殿 (スペイン)
秋山秀一 [旅行作家]

◆新・房総百景…………… 22
日本遺産—成田

◆モノづくりプロジェクトの挑戦…………… 37
ロボット技術でモノづくりを支援し、
産学連携の新しいあり方を拓く
千葉工業大学未来ロボット技術研究センター (fuRo)

◆未来を拓く日の丸技術文化①…………… 42
産業革新の原動力としての技術文化
志村幸雄 [技術評論家]

◆シンクタンクが目…………… 43
人も企業も習慣が大事。習慣化経営で成長企業へ！
溝淵隆裕
[(株)ちばぎん総合研究所 経営コンサル第一部 主任コンサルタン]

表紙写真 轟アスレックス・コミットの「陸上競技」

陸上競技とは、陸上で実施される運動競技のうち、主として走・跳・投の基本動作から成る競技の総称。競技場のトラックで実施されるトラック競技、トラック内側のフィールドで実施される跳躍や投てきなどのフィールド競技、さらにマラソンや競歩など、競技場外に設定されたコースを走るロードレースがある。歴史的には、紀元前776年の第1回古代オリンピックにおいて、スタジアムの長さ分の走種目、スタディオン走が行われたと言われている。

轟アスレックス・コミットは、主に小・中学生・高校生を対象とした陸上競技クラブ。「すべてのスポーツの基礎は走ること!!」との理念を掲げ、約90名の小学生、25名程度の中学生、約40名の高校生・一般の会員が、13名のコーチのもと、週1~2回、それぞれの夢や目標に向かって、楽しく練習を行っている。

■お問い合わせ、ご質問は下記まで
轟アスレックス・コミット
Eメール: info@todoroki-ac.jp
☎090-3104-9362 (代表 宮野)



まちづくり発達史
市町村と企業のマッチングをサポートする県の新事業
空き公共施設の利活用

《事例紹介》
生明弘好 [(株)良品計画 事業開発担当部長]
寺川広貴 [(株)DIGLEE 代表取締役]
鈴木雅之 [千葉大学国際教養学部 准教授]



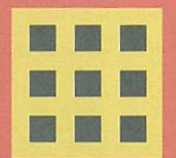
千葉・武蔵野アライアンスシンポジウム
圏央道が繋ぐ千葉・埼玉の未来を考える
会社を強くする！ 実践経営塾
社員の創造性を引き出す
オフィスづくり

CRI (株)ちばぎん総合研究所

社員の創造性を引き出すオフィスづくり

オフィスは従業員が長い時間を過ごす空間だけに、快適に過ごせる配慮が必要だ。コストを抑える、管理しやすいという視点だけだと、創造性を抑え込んでしまうことにもなりかねない。創造性を生み出すキーワードとなるのが、コミュニケーションの活性化だ。互いに顔見知りであることが多い中小企業であっても、それだけでコミュニケーションが良くなるわけではない。個性的なオフィスづくりで社員の活性化につなげている2社の事例を紹介する。

会社を強くする！



実践経営塾